

3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

② ランドスケープ計画における景観形成の方針:地域の憩い・交流の場となる広場空間の創出

エコ広場 地域の生態系をつなぎ環境を学ぶ広場

・周辺に残る緑に倣い、生態系に配慮した樹林とビオトープを整備する。地域の子供たちが自分達の住む場所の環境を学ぶきっかけとなったり、小学校の環境学習の場や多世代交流の場となり、貫通通路の緑と一体的なエコロジカルコリドーの拠点となる。

【使われ方のイメージ】

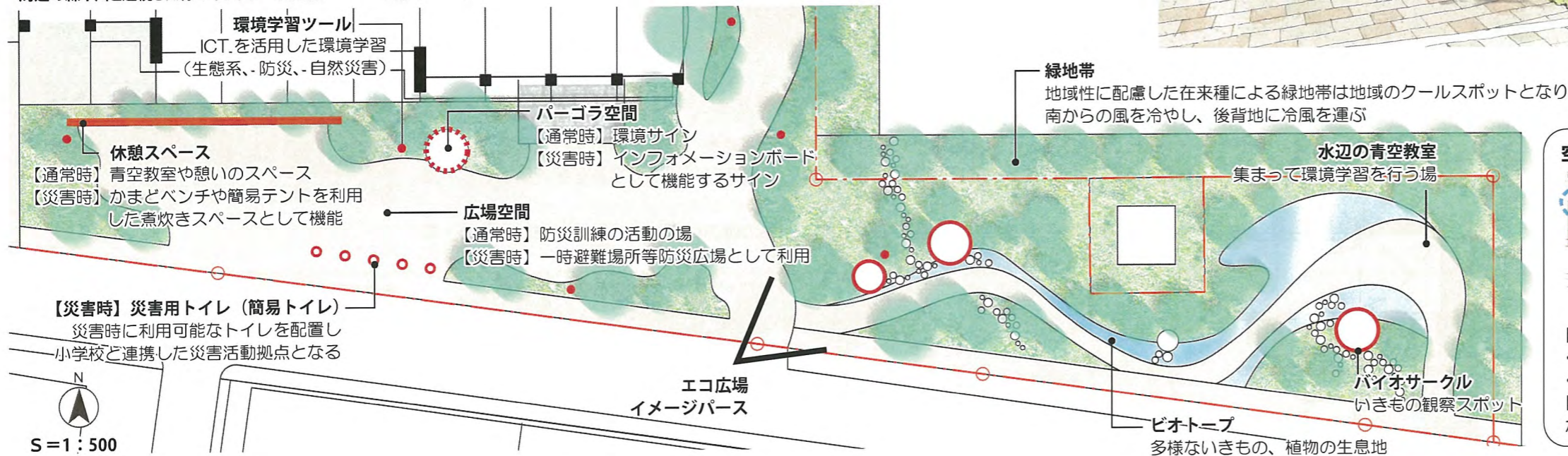
- ・小学校の授業の一環として、ビオトープに生息する生物や、飛来する鳥や虫を観察することで子供たちが地域の生態系を学ぶ。
- ・水と緑のかたまりとなり、クールスポットを創出する。水の流れる音や鳥や虫の鳴き声を聞きながら快適に休息できる場となる。
- ・多様な樹種構成とし、新緑や紅葉等の季節変化を楽しむ場となる。



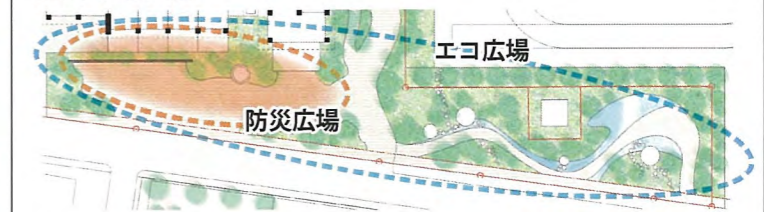
周辺の森や川と連続した緑のネットワーク拠点

地域住民を対象にした環境学習

子供たちが遊んで学べるビオトープ空間



空間の考え方



- 【通常時】
- ・エコ広場の一部として環境学習の場や地域の生態系をつなぐ場
 - ・環境学習を通して防災活動や自然災害について学ぶ場
- 【災害時】
- かまどベンチや簡易トイレなど災害に強い機能を有する広場

防災広場 災害に強い安心安全な広場

・一次避難場所や災害支援拠点として機能。また、防災広場としての広がり確保しながら、既存樹の森とエコ広場との緑の連続性を確保。

【災害時対応のための整備や活動について】

- ・太陽光発電等の設備を導入し、災害時に活用できるエネルギー源の確保。
- ・かまどベンチや簡易トイレ等、地域の防災性向上に寄与する施設の整備。
- ・防災訓練を兼ねた地域交流イベントの開催。



防災訓練を兼ねた地域交流イベントの開催



楽しみながら学べる防災イベント

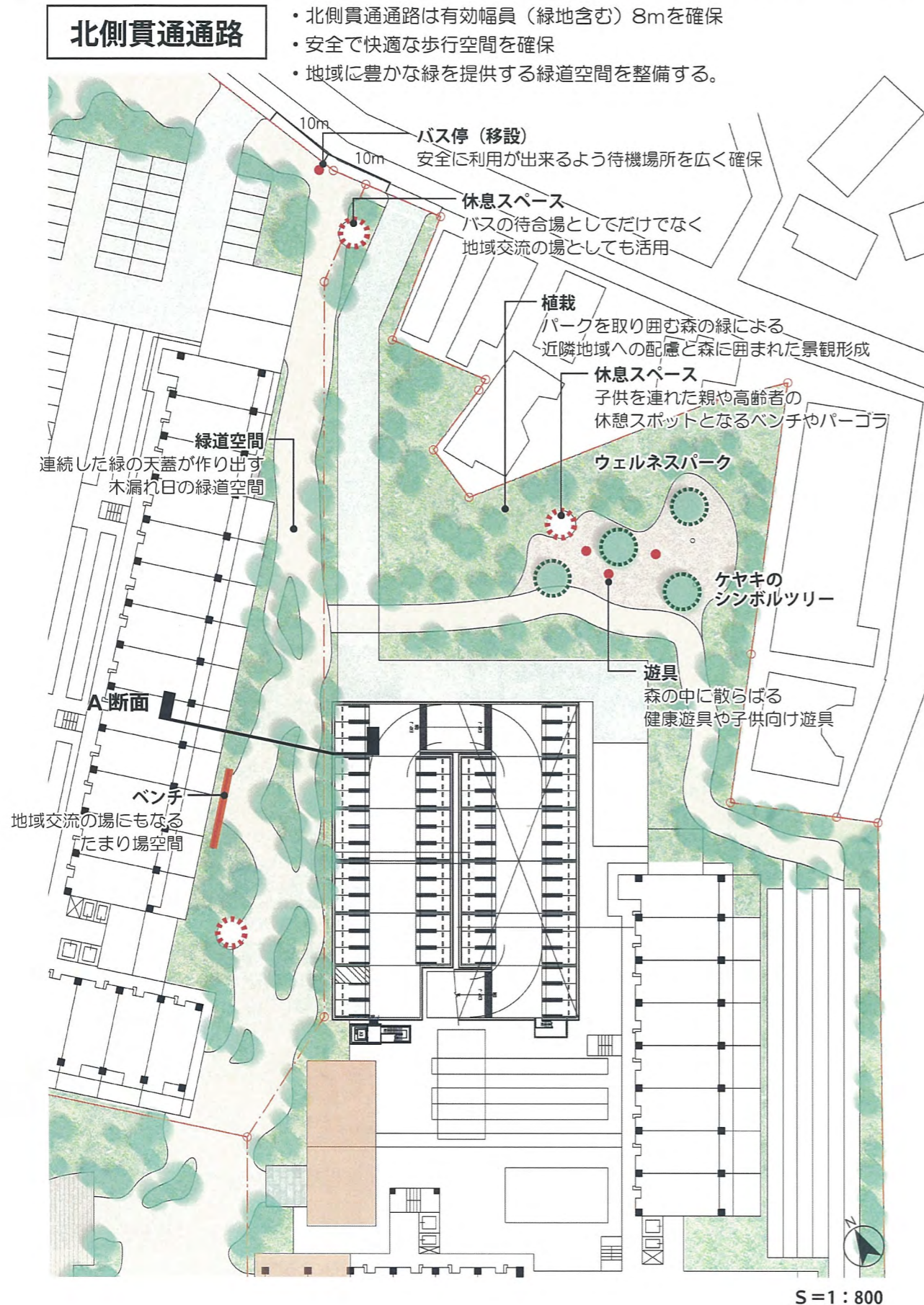


災害時に活用可能な自然エネルギー源

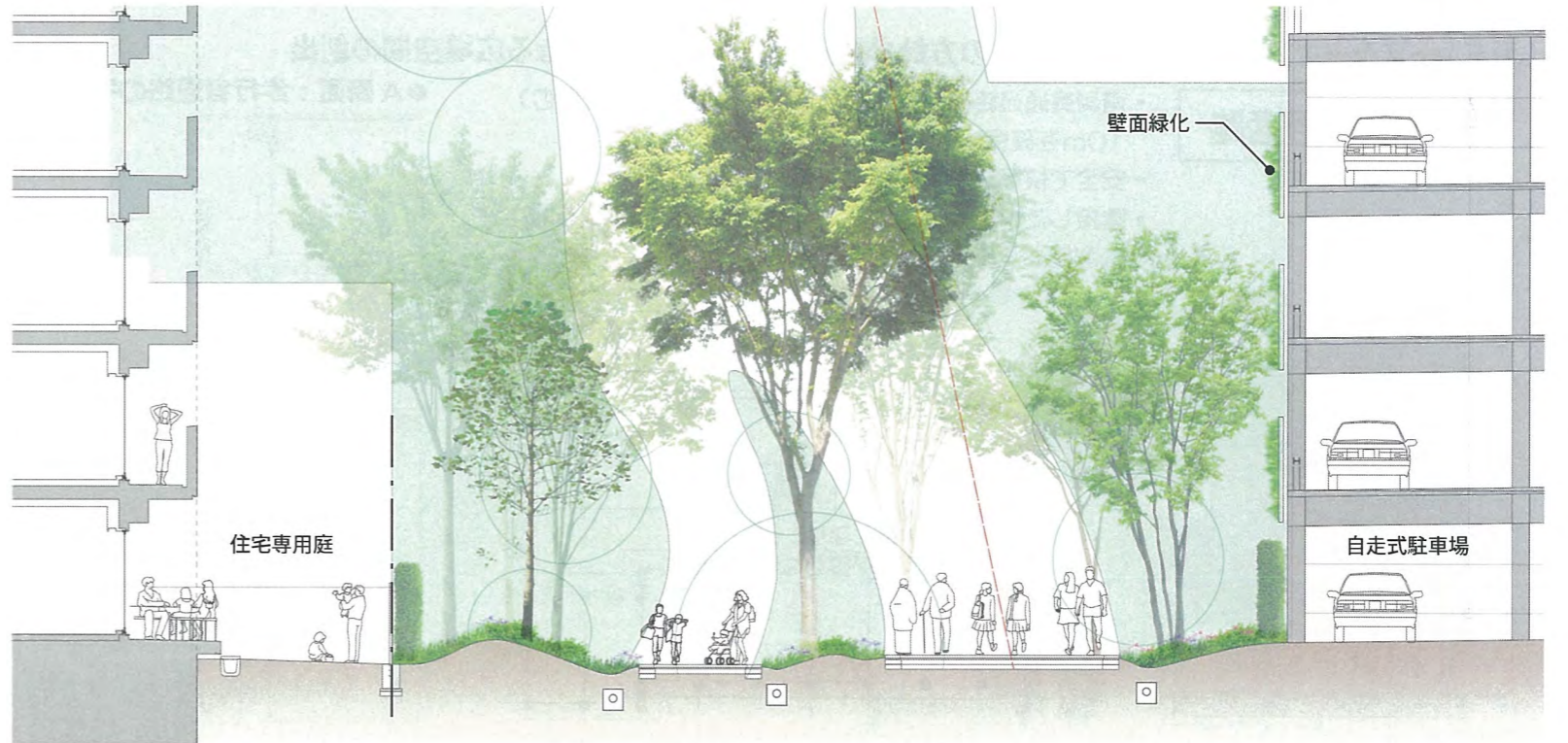
3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

② ランドスケープ計画における景観形成の方針：地域の憩い・交流の場となる広場空間の創出



● A断面：歩行者通路の考え方



● 緑道空間の考え方

- 貫通通路の緑は歩行空間を緩やかに蛇行させ、緑地と歩道が入り組ませることで、通路に緑の天蓋を形成します。
- 高木植栽は通路に張り出すような樹形で、下枝の抜けたものを中心とし、視線が通る安全安心な通路とします。
- 足元は緩やかな起伏のある地形の上に、多様な低木地被植栽を混植をすることで、視認性の高い、変化に富んだ景観を形成します。



● ウェルネスパーク

- 地区の北東へ抜ける通路の間に配置し、通路空間と連続性のある森の緑に囲まれた広場である。パーク内には健康遊具や子供向け遊具が置かれており、地域の高齢者や住民、周辺の学校に通う子供たちが集う健康促進と多世代交流の場となる。



健康遊具イメージ



子供向け遊具イメージ



休憩スポットイメージ

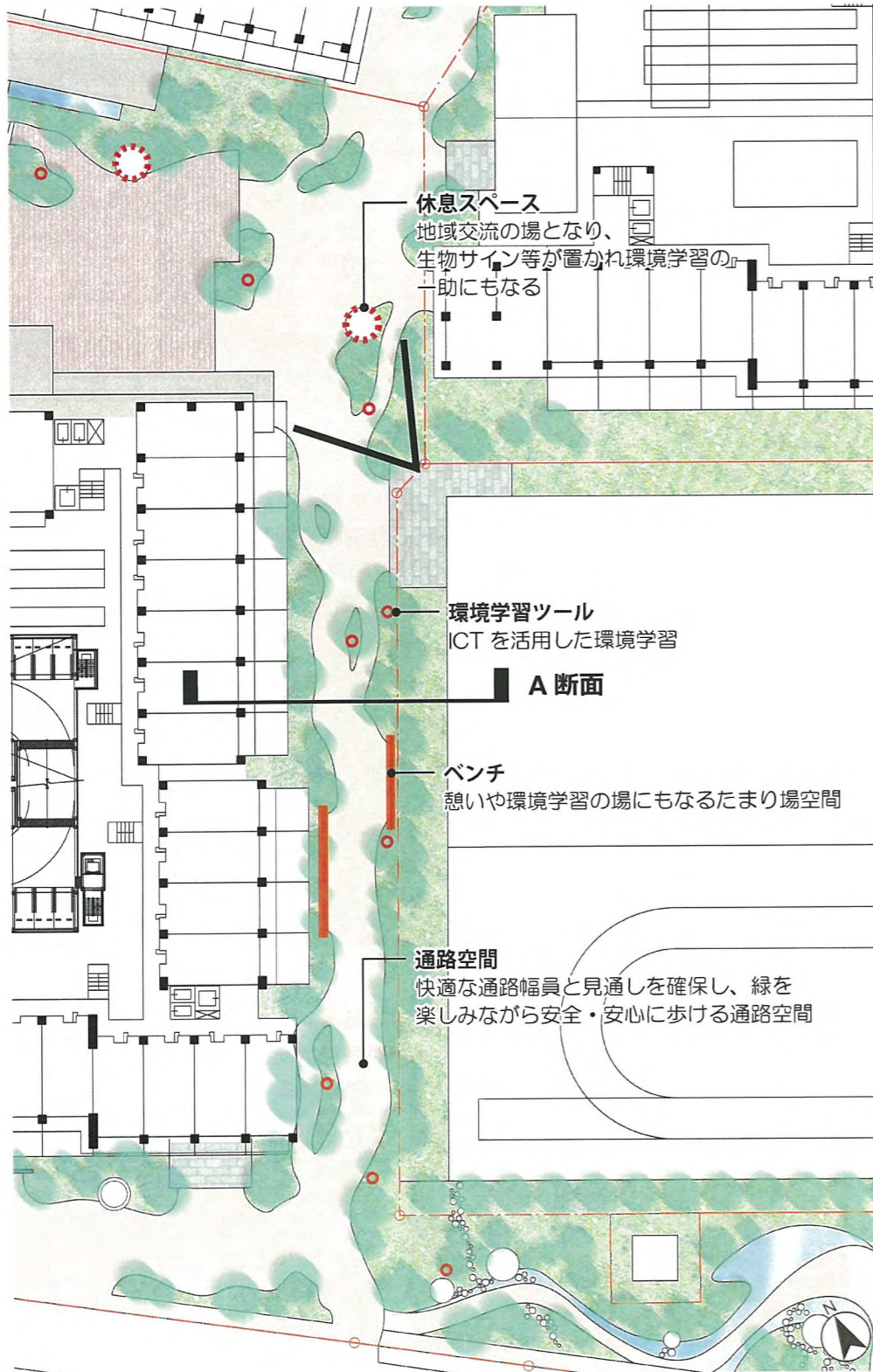
3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

② ランドスケープ計画における景観形成の方針：地域の憩い・交流の場となる広場空間の創出

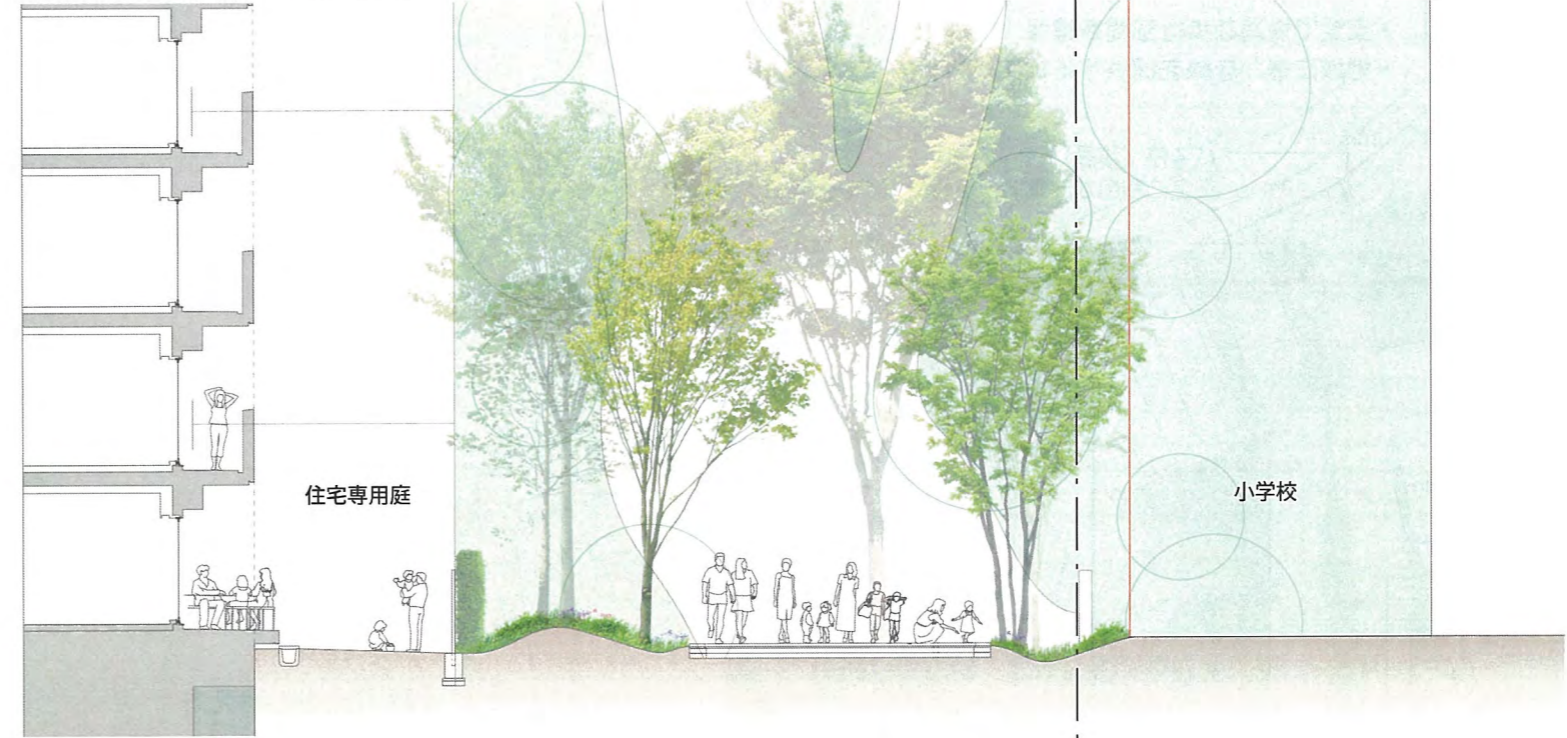
南側貫通通路

- ・南側貫通通路は北側よりも広い有効幅員（緑地含む）10mを確保
- ・安全で快適な歩行空間の整備と見通しの確保
- ・隣接した小学校に通う子供の活動を補完する広場的な利用も可能な通路として整備



S=1:800

●A断面：歩行者通路の考え方



●小学校から中央広場へのつながり



●活動イメージ



ICTを活用した環境学習



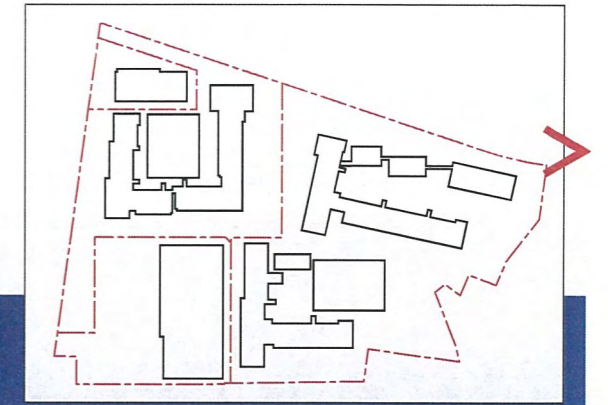
地域住民による環境学習の実施

3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

③ イメージパース

● 綱島街道沿い北側商業施設周辺

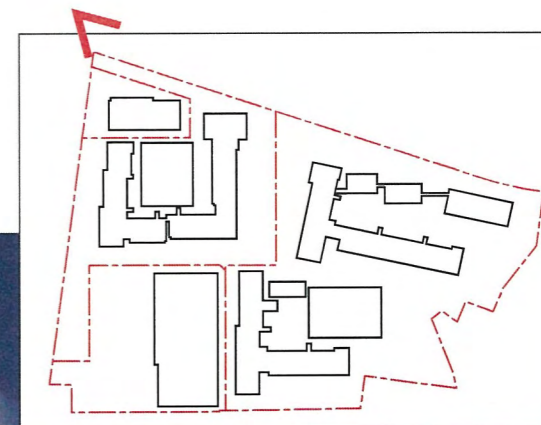


3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

③ イメージパース

● 網島街道沿い南側老人福祉施設周辺



3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

③ イメージパース



● 計画地南側から



3. 都市デザインの考え方

(4) 景観形成の方針

④ ボリュームシミュレーション



A: 綱島街道日吉駅側より



B: 綱島街道日吉駅側より